

EditNetプリンテックの現状と、
今後のサービス維持のための
サービス内容の見直しおよび
料金の改定について



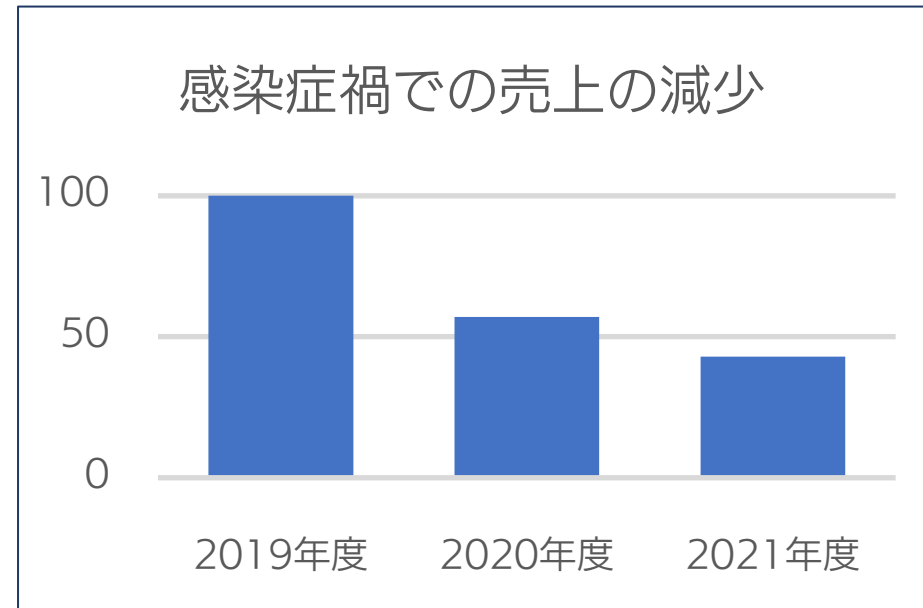
2022年9月

EditNetプリンテック



感染症禍により，収支が悪化しています。

- 新型コロナウイルス感染症の拡大により，EditNetプリンテックの売上は大きく減少しています。
- 同人誌即売会の開催見送りや規模縮小などは当面生じると考えられます。ご注文の件数や印刷部数が元に戻る前提での計画は難しい状況です。



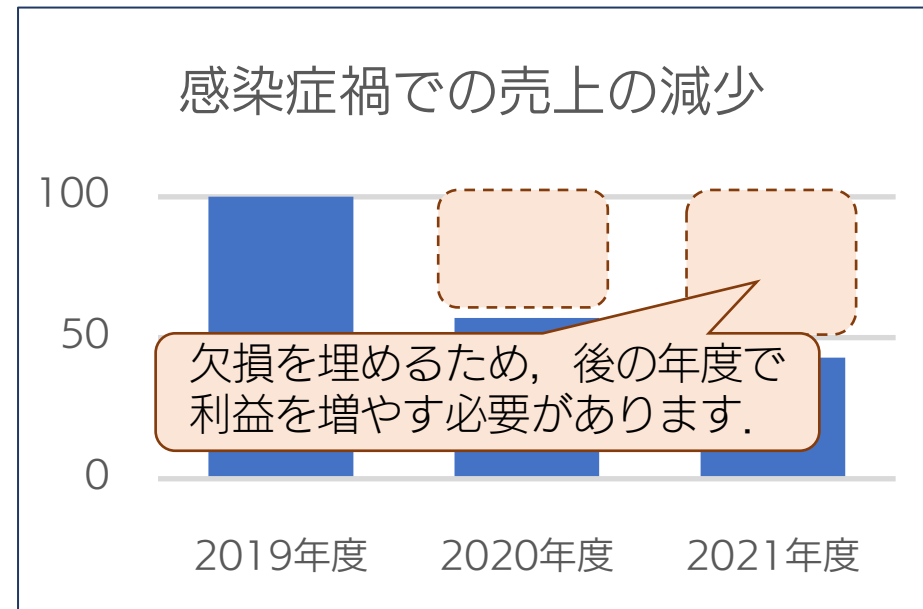
売上の減少に加え，次のような要因で収支が悪化しています。

- 原材料費，エネルギー価格，あらゆる物価高騰による提供コストの上昇
- プリンテックDIY，店頭受付の中止に伴う売上の減少
- 短納期のサービス中止に伴う売上の減少
- 異常気象に伴う安全確保のための受付中止・臨時休業による売上の減少
- 極端に複雑な仕様の印刷物の増加による提供コストの上昇



感染症禍により，収支が悪化しています。

- 大幅な売上の減少による資金不足は，定期性預金の取崩し，銀行借入れなどでまかっています。
- これらはいずれも，将来の利益で穴埋めする性質のものですが，長期間にわたる売上の大幅な減少により，穴埋めのための利益確保が追加的に必要になります。



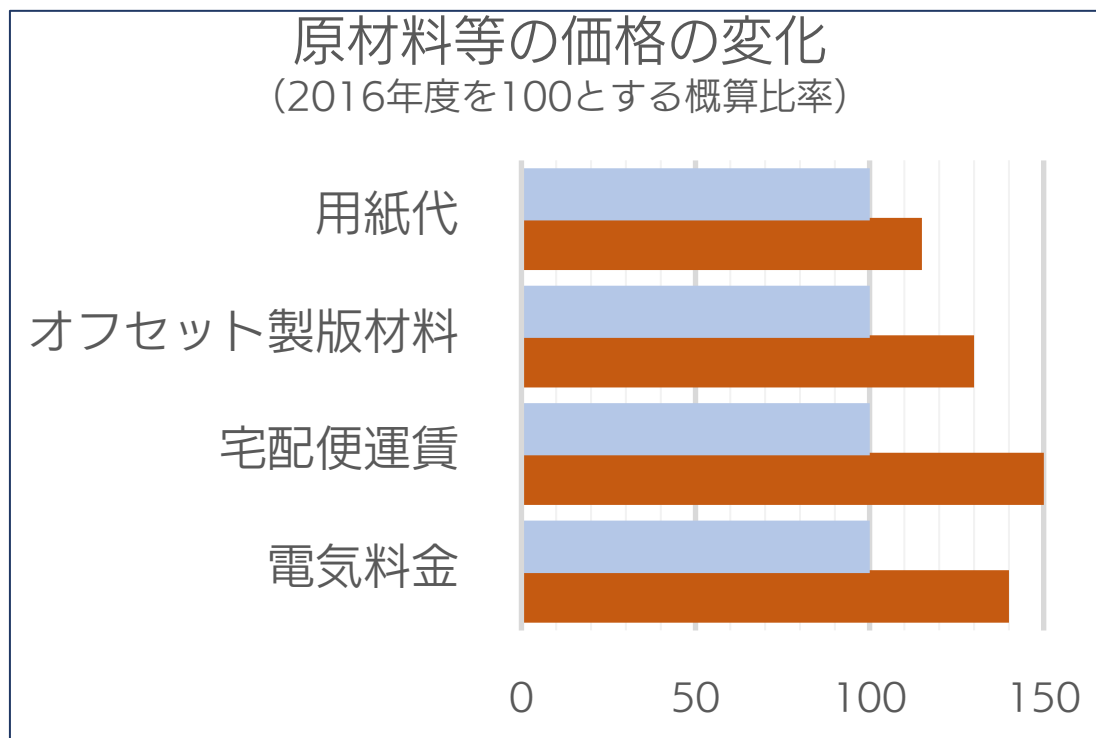
売上の急激な減少により，多くの問題が生じています。

- 売上が急激に減少しても，支出の多くを占める固定費（人件費，建物の賃料，電気料金，機器のリース料や償却費など）はすぐに減らないため，売上の減少がそのまま損失（赤字）に直結します。
- 機器の更新や保守の先送りを続けると，機器の信頼性や品質の低下につながります。



提供原価が大幅に上昇しています。

- 紙やインキ，電気料金に至るまで，多くの提供原価が大幅に上昇しています。
- 特にオフセット印刷の材料は，需要の減少により大幅な値上がりが続いています。
- 物価が高騰する局面では，賃金水準も引上げが必要になります。

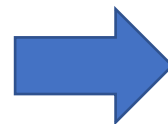




ご注文の構成も大きく変化しています。

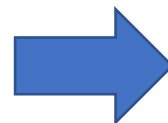
ご注文の構成（傾向）の変化

- 同人誌即売会の回数，規模縮小
→短納期の需要減少
- 感染症禍で作業日数に余裕を持たせるため，短納期プランの受付中止



単価の減少

- 極端に複雑な仕様の印刷物の増加



平均コストの
増大

ご注文の構成が大きく変わったことも、収支に影響しています。

●従来は、短納期で比較的高額なプラン，長納期で割引の多いプランなどを一定のバランスで受注していましたが，短納期プランの受付中止などで，このバランスが崩れています。

●極端に複雑な仕様の印刷物が増加し，提供コストが増大しています。



サービスの維持のために，見直しが必要です。

当社をとりまく状況の大きな変化により，現状のサービスをそのままで維持することは困難です．独特な印刷物を作り出している従業員の雇用を守り，事業として維持可能なサービスに再構成する必要があります．

今後も変えずに維持すること

- 「紙でしか作れない印刷物」， 「当社でなければ作れない印刷物」への注力
- 環境， 人権， 安全など， 社会の持続的発展に資する経営方針の維持

サービスの維持のために見直すこと

- 一部のサービス， プランの見直し
- 料金水準の引上げ → 次ページ以降に詳細
- 現在無料， 低額で提供しているサービスについて， 作業量に見合った料金を設定



料金水準の引上げを実施します。

基本的な考え方

- 当社は、個人の情報発信のメディアとしての印刷サービスを、誰もが利用しやすい低廉な料金で提供することで、民主的で自由な社会の発展に奉仕することを目指してきました。
- ところが、その後の状況の大きな変化により、現状の料金水準でサービスを維持することは不可能になっています。このため、以下の考えのもとで料金水準の改定を行います。
 - ・基本的な仕様の印刷物については改定幅を相対的に小さくすることで、表現自体のハードルをなるべく上げない一方で、特殊な仕様について、作業量に見合った料金を設定する。
 - ・料金の激変を避けるため、2段階に分けて改定する。
 - ・料金の予見性を高めるため、定期改定の制度を導入する。



料金水準の引上げを実施します。

料金水準全般の引上げ

●大幅な料金引上げが避けられないため、2022年11月、2023年4月ころの2回に分けてセットプランの基本額を実施します。

印刷方式	標準的な引上げ幅（現行との比較）	
	2022年11月	2023年4月ころ
孔版印刷	120～130%	130～160%(*1)
オフセット印刷	130～140%	140～170%(*1)
オンデマンド印刷	120～130%	(*2)

- 引上げ幅は部数やページ数によって異なるため、標準的なご注文について、概ねの範囲で示しています。ご利用の少ない部数やページ数、オプションの追加などにより、上記の範囲を大きく外れることがあります。
- オプションの加算額は、上記の範囲とは別に改定を行います。
- (*1)の孔版印刷、オフセット印刷では、今後の営業制度の全般的な見直しにより、ご注文の内容によってはこの範囲を大きく外れることがあります。
- (*2)のオンデマンド印刷については、今後の料金体系の変更により、現行との比較が困難になる可能性があることから、表示していません。
- 2023年の改定予定は現時点での見通しのため、今後変更することがあります。



料金水準の引上げを実施します。

各プランに無料で含まれる範囲の見直し等

- 孔版印刷とオフセット印刷において、特に複雑な仕様のインキ替えについて、加算額を設定します。（現在、孔版印刷は本文インキ替えの加算額がありません。）
- 仕入れ価格の上昇により、本文・表紙に無料で含まれる紙を一部変更します。
- 紙原稿の扱いについて、加算額を設定します。
- あわせて、インキ替え・多色刷りなどの加算額を改定します。
- その他用紙代なども現状の仕入れ価格を反映して改定します。

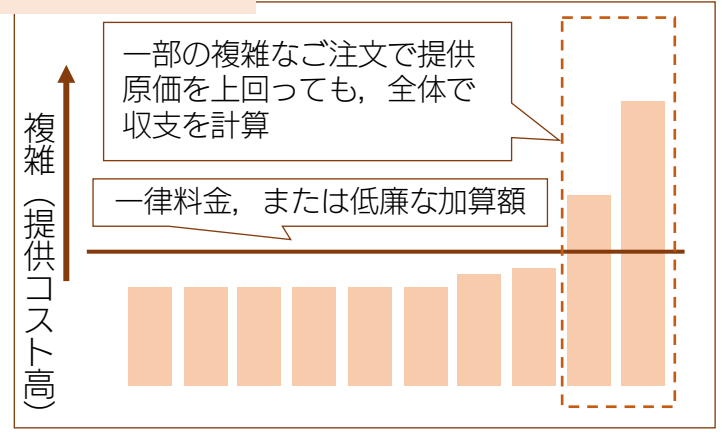
上記の見直しにより、極端に複雑な仕様の印刷物については、基本額の引上げと合わせて、料金が現行の2倍を上回る場合があります。



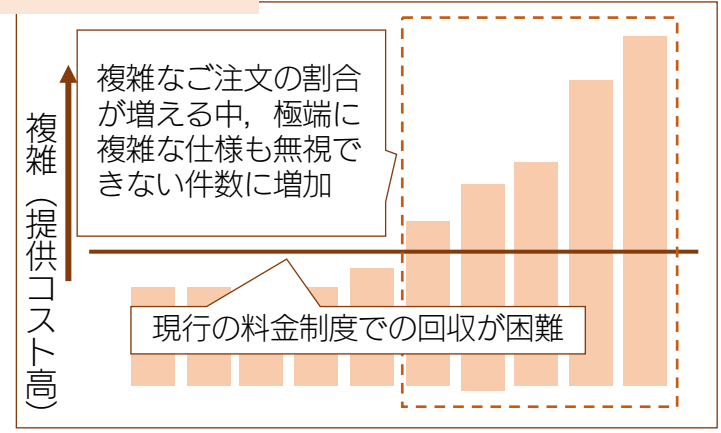
料金水準の引上げを実施します。

各プランに無料で含まれる範囲の見直し等

従来



最近の傾向



- 当社では、多彩な表現技法を手軽に使えるようにするため、孔版印刷でインキ替えを無料とする、加算額の水準を低廉に抑えるなど、営業制度上も利用しやすくしてきました。このコストは、お客さま全体で広く薄く負担いただいたこととなります。
- 複雑なご注文の割合は低かった一方で、完成した印刷物を通して当社の知名度の向上や増収につながってきたため、当社はもちろん、お客さま全体にメリットが波及していたと考えています。
- しかし、最近は複雑なご注文の割合が増え、極端に複雑な仕様の印刷物も増えるなど、一律料金・低廉な加算額を維持できず、コスト見合いの負担をお願いせざるを得ない状況にあります。



料金水準の引上げを実施します。

料金の定期見直し制度の導入

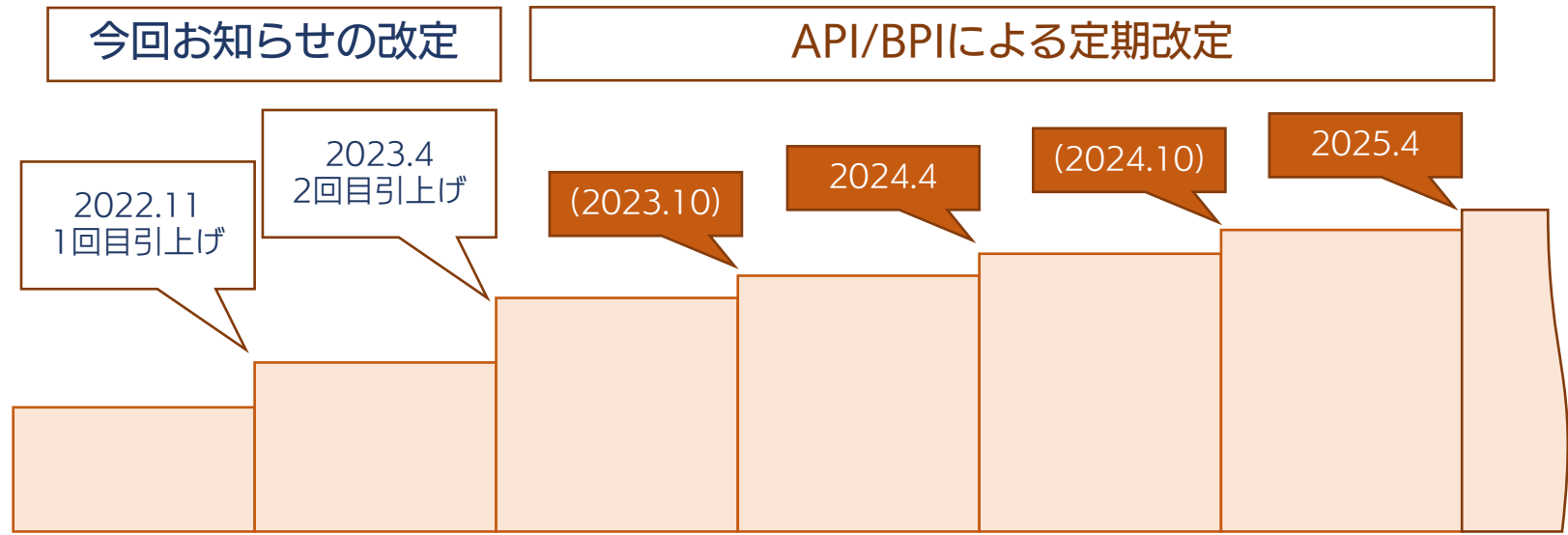
- 原材料費などの値上がりは、今後も続くことが予想されます。
- お客さまは原稿の準備などに長い期間をかけて印刷のご注文をされていることから、料金の予見性を高めるため、2段階目の改定後も、年1回（当面の間は年2回）定期的に料金を見直す制度（Annual/Biannual Price Increase）を導入します。
- このしくみによる初回の改定は、2023年10月ころを予定しています。
- 現時点では1回に5%～10%程度の引上げを想定していますが、将来の経済状況の見通しは困難なため、この範囲を外れることも考えられます。
- ただし、営業制度の変更にもなう改定、提供原価の急激な変動による改定、特定の材料の値上げなどに伴う改定などは、API/BPIによらず実施することがあります。

料金の予見性を高めながら、提供原価の変動を適切に料金に反映させるため、ご理解をお願いします。



料金水準の引上げを実施します。

料金の定期見直し制度の導入



- 図はイメージです。
- 2023年4月以降の時期は目安です。具体的な改定時期は前後することがあります。
- API(Annual Price Increase)は原則として例年4月ころの実施を想定していますが、社会情勢が見通せないことから、BPI(Biannual Price Increase)として例年10月ころにも見直しの機会を設けます。
- 提供原価等の状況によっては、改定を行わない場合もあります。



料金水準の引上げを実施します。

料金の改定時期・適用関係

- 2022年11月18日の納品分（発送分）から、料金を改定させていただきます。（当社では、納品予定日を基準にして料金表を適用します。）
- 具体的な実施日、料金改定の詳細については、10月中旬をめぐり、改めてお知らせします。
- 料金改定の前に多くのご注文が集中した場合、入稿期限前でも受付を終了するなど、お引き受けを制限させていただくことがあります。
（このような場合でも、料金改定の延期や、お客さま個別に旧料金を適用することは考えていません。）



その他

「少年漫画の紙」の扱いについて

- 当社が独自に調達している「少年漫画の紙」は、イベントチラシでの使用がなくなり、仕入れる量が激減したことで、在庫保管などのコストが増加しています。このため、価格を引き上げます。
- 印刷にも非常に手数がかかるため、本文でお使いになる場合の加算額を設定します。

プリンテックDIYの営業について

- プリンテックDIYは、サービスの性質上多くの方と対面することになり、イベント直前は大変混雑する可能性があることから、従業員の安全確保を最優先に、営業再開の時期や方法を検討してまいります。
- いずれにしても、「いつでも自由に利用できる形態」での再開は、当面は困難と考えています。



サービス内容の見直しと料金の改定に、お客さまのご理解をお願いします。

あわせて、当社のお客さまの作品を手にとられる皆さまには、当社のお客さまが印刷料金を作品の販売価格に適切に転嫁できるよう、ご理解とご協力をお願いします。



●このお知らせは、当社のサービス提供の今後のあり方について、見通しをなるべく早い段階でお示しするために作成したものです。今後の社会・経済の状況を予測することは困難なため、今後の料金水準やサービスの内容は、今回のお知らせから異なる場合があります。当社は今回のお知らせの内容に拘束されることなく、今後の社会・経済状況に合わせたサービス内容の改定を行うことがあります。